

バカロレア試験

バカロレア試験とは、フランスの高校卒業資格 (= 大学入学資格) 試験です。全て記述式の試験で、初日 (今年6月13日) には必ず「哲学」が課されます。いずれの専攻も、3問中1問を選択することとされています。

ちなみに、20点満点の10点で合格。昨年度は受験生の78.7%が合格し、これは同世代の62%に相当します。

もちろん、講義と直接の関係はありません。ただ、みなさんと同世代の若者が外国でどういう教育を受けているかを知っておくことは、何かの役には立つでしょう。

自然科学バカロレア選択者向け

- 第1問 言語が多様であることは人々の相互理解の妨げになるか。
- 第2問 政治は、科学(science)であるか、それとも芸術(art)であるか。
- 第3問 [デイヴィッド・ヒューム『人性論』からの抜粋が示され、「このテキストを説明せよ」という問が与えられる。]

経済・社会バカロレア選択者向け

- 第1問 われわれは、われわれが良いと考える物のみを欲するのだろうか。
- 第2問 権利を守ることは、利益を守ることと同じことか。
- 第3問 [ハンナ・アーレント『近代人の条件』からの抜粋が示され、「このテキストを説明せよ」という問が与えられる。]

人文科学バカロレア選択者向け

- 第1問 われわれは、過去よりも現在をよりよく知っているのだろうか。
- 第2問 芸術がなければ、美について語ることもないのだろうか。
- 第3問 [ニコラ・ドゥ・マルブランシュ『真理探究論』からの抜粋が示され、「このテキストを説明せよ」という問が与えられる。]